

令和 7 年 11 月 12 日
官民競争入札等監理委員会

第 330 回官民競争入札等監理委員会
官民競争入札等監理委員会運営規則第 3 条に基づく書面による議事結果

官民競争入札等監理委員会（以下、「本委員会」という。）に付議された次の事業について、本委員会運営規則第 3 条に基づき書面による議事を行ったところ、過半数の委員より異存はない旨回答を得たため、その旨、本委員会としての議決に代えることとした。

○実施要項（案）

- ・（国研）国立長寿医療研究センター／（国研）国立長寿医療研究センターの実験動物飼育管理業務
- ・（独）水資源機構／（独）水資源機構の千葉用水管理現場技術業務
- ・（独）水資源機構／（独）水資源機構の千葉用水施設管理業務
- ・環境省／国民公園（京都御苑）の維持管理業務
- ・（国研）農業・食品産業技術総合研究機構／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の LAN システムヘルプデスク業務
- ・国土交通省／室蘭開発建設部管内自家用電気工作物保守点検
- ・国土交通省／帯広開発建設部管内自家用電気工作物保守点検

なお、議事のうち「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の LAN システムヘルプデスク業務」について、石田委員長から、異存はないものの以下の意見が提出された。

【石田委員長の意見】

意見：将来的には、チャットボットや生成 AI 等を活用したヘルプデスク業務の在り方をご検討頂きたい。

現在のヘルプデスク業務は、役職者からの問い合わせに対する 24 時間以内の回答率 90%以上を目標とし、常時 2 名が対応している。令和 6 年度の問い合わせ対応件数は、最大だった 3 月が 503 件（1 日 1 人当たり約 13 件）、最も少なかった 6 月が 86 件（1 日 1 人当たり約 2 件）で、1 年間平均は 1 日 1 人当たり約 4 件となっている（1 カ月 20 日で計算）。ヘルプデスク業務の適正な人員配置の在り方については検討の余地があるのではないか。また、将来的にはチャットボットや生成 AI 等を活用した業務の在り方についてご検討頂きたい。

石田委員長の意見に対する国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の回答は以下のとおり。

【（国研）農業・食品産業技術総合研究機構の回答】

ヘルプデスクを利用する役職員の待ち時間が生じないよう、常時間問い合わせに対応できる 2 名体制を採用しています。

また、チャットボットや生成 AI などの AI 活用については、今後のヘルプデスク業務への導入可能性について検討して参ります。

以上